

令和6年度（2024）

かごしま

近代文学館・メルヘン館年報

目 次

	頁
1 沿 革	1
2 施設概要	3
3 かがしま近代文学館	5
(1) 1階常設展示	5
(2) 2階常設展示「鹿児島文学の群像」	5
(3) 向田邦子の世界	5
(4) 文学ホール	5
(5) ライブラリー	5
4 かがしまメルヘン館	6
(1) おはなしのまち	6
(2) おはなしの散歩道	6
(3) 絵本のお城	6
(4) わくわくスタジオ	6
(5) メルヘンホール	6
(6) 親子読書コーナー	6
5 事業概要	7
かがしま近代文学館	7
かがしまメルヘン館	20
令和6年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 利用実績	25
令和6年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 観覧料等収納額	27
6 収蔵資料概況	28
7 管理運営	29
(1) 利用者数	29
(2) 公益財団法人かがしま教育文化振興財団の概要	31
(3) かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館事務の業務体制	31
8 かがしま近代文学館条例（平成9年 条例第35号）	32
9 かがしまメルヘン館条例（平成9年 条例第36号）	35

1 沿 革

かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館のあゆみ

平成 3 年 12 月	近代文学館（仮称）、世界のおとぎの館（仮称）建設の検討を鹿児島市実施計画に発表
5 年 6 月 24 日	近代文学館（仮称）及び人形の館（仮称）基本構想・検討委員会設置
6 年 3 月 31 日	基本構想・基本計画策定
6 年 7 月 15 日	名称をかごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館に変更
7 年 2 月 1 日	建築・展示基本設計完了
7 年 3 月 29 日	建築・展示実施設計完了
9 年 9 月 16 日	本体工事、電気設備工事、空気調和設備工事、給排水設備工事完成
9 年 10 月 3 日	かごしま近代文学館条例及びかごしまメルヘン館条例公布
9 年 11 月 28 日	展示工事完成
9 年 12 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社設立
10 年 1 月 1 日	かごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館の管理運営業務を鹿児島市から財団法人鹿児島市教育施設管理公社に委託
10 年 1 月 28 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の落成記念式典開催
10 年 1 月 29 日	開館
10 年 9 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 10 万人達成
11 年 1 月 29 日	かごしま近代文学館初の特別企画展「有島三兄弟と白樺派」展の開催（～2 月 28 日）
12 年 3 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 20 万人達成
12 年 11 月 1 日	かごしま近代文学館常設展示入館者 10 万人達成
16 年 7 月 23 日	鹿児島県教育委員会が、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館を、博物館法第 29 条により「博物館に相当する施設」として指定
18 年 4 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社がかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の指定管理者として、管理運営を開始
19 年 10 月 4 日	かごしま近代文学館開館 10 周年記念イベント「宮尾登美子記念講演会」の開催
20 年 2 月 8 日	かごしまメルヘン館開館 10 周年記念イベント「エリック・カールの世界」展の開催（～3 月 9 日）
20 年 3 月 31 日	リニューアル基本計画策定

- 21年3月9日 リニューアル基本設計・実施設計完了
- 21年7月3日 かがしまメルヘン館初の特別企画展「ようこそ！絵本遊園地」の開催（～8月31日）
- 22年7月5日 リニューアル工事のため休館（～23年3月29日）
- 23年3月30日 展示施設リニューアルオープン
- 23年4月1日 財団法人鹿児島市教育施設管理公社から、財団法人かがしま教育文化振興財団に名称変更。財団法人かがしま教育文化振興財団がかがしま近代文学館・かがしまメルヘン館の指定管理者として、管理運営を開始
- 23年5月13日 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館合わせて、入館者200万人達成
- 23年7月15日 かがしまメルヘン館リニューアル記念特別企画展「ミッフィーのたのしいお花畑」の開催（～8月31日）
- 23年10月14日 かがしま近代文学館リニューアル記念特別企画展「島尾敏雄展」の開催（～11月13日）
- 25年4月1日 公益財団法人かがしま教育文化振興財団へ移行
- 25年10月4日 北九州市立文学館、尾道市立美術館、新宿歴史博物館との協働企画、かがしま近代文学館特別企画展「生誕110年林芙美子展 風も吹くなり雲も光るなり」の開催（～11月4日）
- 28年2月24日 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館合わせて、入館者300万人達成
- 30年2月10日 かがしまメルヘン館開館20周年記念事業「あこがれの絵本作家がやってきた！」鈴木のりたけ×高島那生の開催（～11日）
- 30年2月12日 かがしま近代文学館開館20周年記念事業 島尾敏雄生誕100年、島尾ミホ没後10周年記念トークショー「島尾敏雄・ミホを辿って」の開催
- 令和元年12月20日 かがしま近代文学館・メルヘン館及び鹿児島市立美術館共用駐車場の供用開始
- 3年3月10日 財団自主事業特別展「りぼん 250万りぼんっ子♥大增刊号」の開催（～4月12日）
- 5年1月25日 かがしま近代文学館開館25周年記念企画展「かがしま近代文学館偏愛コレクション&現代作家が紡ぐ鹿児島物語」展の開催（～5月22日）
- 6年7月18日 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館合わせて、入館者400万人達成

2 施設概要 (令和6年4月1日現在)

(1) 施設規模等

- ① 所在地 鹿児島市城山町5番1号
- ② 建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地階1階 地上3階
- ③ 敷地面積 3,418.15 m²
- ④ 建築面積 2,289.36 m²
- ⑤ 延床面積 5,874.31 m²

※「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」(通称 [ハートビル法]) の認定建物

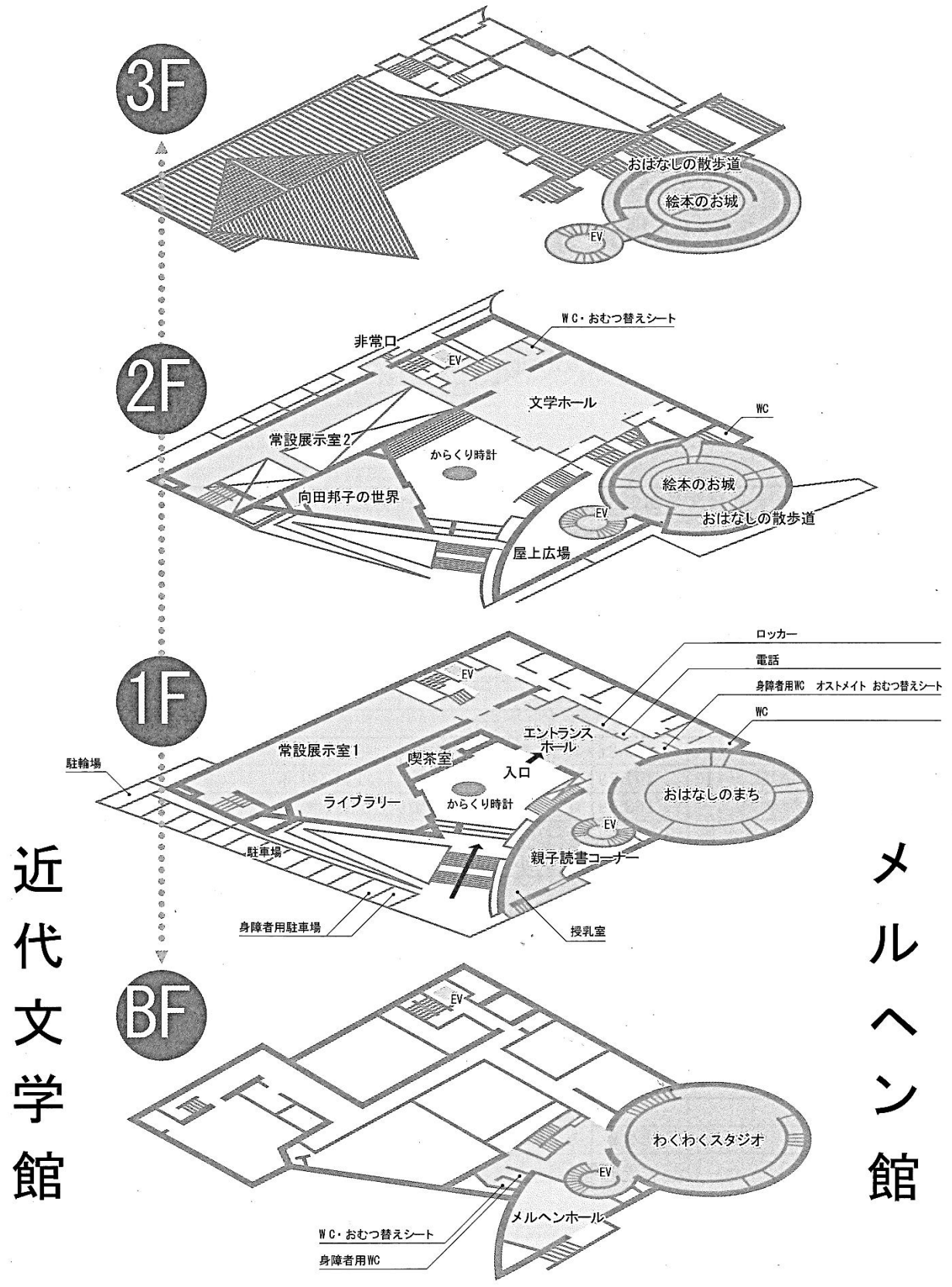
- ⑥ 管理運営主体 公益財団法人かごしま教育文化振興財団

- ⑦ 室別面積一覧表

(単位 ; m²)

区分 階数	かごしま近代文学館		かごしまメルヘン館		共用・管理部門		合 計
	室 名	面 積	室 名	面 積	室 名	面 積	
地下 1階	収蔵庫-2	232.98	わくわくスタジオ	383.64	ロビー	40.06	2,039.49
	収蔵庫-3・前室	207.38	メルヘンホール	132.64	機械室	243.79	
	会議室	35.38	収蔵庫-1	134.49	ボンベ室	18.27	
	くん蒸室・前室	20.67	その他	41.57	ポンプ室	14.40	
	その他	39.41			その他	494.81	
	(小計)	535.82	(小計)	692.34	(小計)	811.33	
1階	展示ロビー	59.22	おはなしのまち	383.64	エントランスホール	289.28	1,988.06
	常設展示室-1	401.79	親子読書コーナー	113.52	事務室	68.56	
	ライブラリー	163.69	書 庫	29.04	常務理事室	27.59	
	その他	19.09	その他	56.51	その他	376.13	
	(小計)	643.79	(小計)	582.71	(小計)	761.56	
2階	展示ロビー	94.84	おはなしの散歩道	187.03	事務局	47.81	1,191.56
	常設展示室-2	184.37	その他	56.81	その他	157.41	
	文学ホール 企画展示室	321.30					
	向田邦子の世界	100.99					
	その他	40.00					
(小計)	741.50	(小計)	243.84	(小計)	205.22		
3階			おはなしの散歩道	267.91	屋外機置場	134.56	656.20
			その他	128.76	その他	124.97	
			(小計)	396.67	(小計)	259.53	
合計		1,921.11		1,915.56		2,037.64	5,874.31

(2) 平面図



3 かごしま近代文学館

鹿児島市は平成元年に市制施行 100 周年を迎え、その記念事業の一つとして児童文学作家・椋鳩十の業績を顕彰するため「椋鳩十児童文学賞」を創設しました。

そして、この賞で醸成された文学振興の気運を更に高めるため、鹿児島にゆかりのある作家とその作品などを紹介し、文学の振興を図る「かごしま近代文学館」を建設しました。

また、平成 23 年 3 月 30 日には装いも新たにリニューアルオープンし、作家たちが創作に傾けた情熱を来館者が体感し、自らの読書意欲や創作への興味を高められるようにと展示内容、展示方法を全面的に刷新しました。

地階 収蔵庫 2、収蔵庫 3、くん蒸室

1 階 「鹿児島情熱絵巻」、「鹿児島ゆかりの作家たち」、「ゆかりの作家たちの情熱」、「文学アトリエ」

2 階 「鹿児島文学の群像」、「向田邦子の世界」、文学ホール

(1) 1 階 常設展示

- ・「鹿児島情熱絵巻」…………… 鹿児島の情景とそこで生まれた文学作品を、映像演出により紹介するコーナー。
- ・「鹿児島ゆかりの作家たち」… 常設展示作家 28 人のポートレートと、作家たちの迸る情熱を表現した言葉のレリーフが出迎えてくれるコーナー。
- ・「ゆかりの作家たちの情熱」… 鹿児島ゆかりの 5 人の作家が創作にかけた情熱を、様々なテーマの下、ジオラマや文学資料、遺愛の品々等とおして紹介するコーナー。
＜展示作家＞ 海音寺潮五郎、林芙美子、椋鳩十、梅崎春生、島尾敏雄
- ・「文学アトリエ」…………… ことば遊びやワークショップ、読書を通じて、来館者がことばや文学に触れ合えるコーナー。

(2) 2 階 常設展示「鹿児島文学の群像」

- ・鹿児島ゆかりの 22 人の作家を紹介。また、様々なテーマで収蔵品展や企画展などを開催するコーナー。
＜展示作家＞ 有島武郎、有島生馬、里見淳、昇曙夢、山本實彦、古木鐵太郎、平林彪吾、妻木新平、一色次郎、黒田三郎、八田知紀、税所敦子、黒田清綱、高崎正風、吉井勇、萬造寺齊、森園天涙、杉田久女、山口誓子、篠原鳳作、藤後左右、福永耕二

(3) 向田邦子の世界

- ・少女時代の 2 年余りを過ごした鹿児島の地を「故郷もどき」と呼び、生涯鹿児島を愛し続けた向田邦子。ここでは、「作品世界」「ライフスタイル」「向田と鹿児島」などの展示構成で、いつ訪れても向田邦子の残り香に触れられる、そんな世界を演出しています。

(4) 文学ホール（約 200 人収容）

- ・館主催で文学講座や講演会・企画展等を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(5) ライブラリー（無料）

- ・鹿児島ゆかりの文学作品や文学雑誌などを、手に取って読める資料閲覧コーナーです。

4 かごしまメルヘン館

かごしまメルヘン館では平成10年の開館以来、世界の民話や童話を紹介してきました。そして平成23年3月30日のリニューアルでは、新たに、真っ白なキャンバスに思い思いの絵を描くように、来館者一人一人の想像力を膨らませてほしいとの願いから、展示コンセプトを「まっしろな絵本」としました。お話の世界を体感できるコーナーも増設され、遊びをとおして、お話や絵本に興味をつなげられる施設となっています。

地階	わくわくスタジオ、メルヘンホール、収蔵庫1
1階	おはなしのまち、親子読書コーナー
2～3階	おはなしの散歩道、絵本のお城

(1) おはなしのまち

・おはなしのお家

「ヘンゼルとグレーテル」のお菓子のお家など童話に出てくるお家や変身グッズで、お話の世界を体感できる乳幼児向けのコーナー。

・お城でへんしん

鏡に映る自分の姿がお話の主人公に変身。

・ぼうけんの森

豆の木アスレチック、蜂の巣迷路、トランプトンネルなど、遊びながらお話の世界を体験。

(2) おはなしの散歩道

・トリックアート

だまし絵で見る「不思議の国のアリス」の世界。

(3) 絵本のお城

・絵本の小部屋

お薦め絵本の展示コーナー。

・人形の小部屋

お話に登場する人形などの展示。

(4) わくわくスタジオ（約70人収容）

・まっしろな絵本

真っ白なスクリーンにお話の主人公や舞台となる場所を決めながらオリジナルストーリーを完成させます。

・人形展示コーナー

季節の人形や郷土人形、物語の主人公の人形などを展示。

(5) メルヘンホール（約100人収容）

・おはなし会など普及支援事業を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(6) 親子読書コーナー（無料）

・絵本や紙芝居を親子が床に座って楽しめるコーナー。読み聞かせ会やおはなし会なども行います。

5 事業概要

かごしま近代文学館

常設展示の充実や企画展、各種講座及びイベント等を積極的に行い、鹿児島ゆかりの作家を中心に、資料の展示や作品の紹介を通して、文学の振興と普及に努めました。

特別企画展「椋鳩十 それぞれの顔」では、常設展示作家・椋鳩十の生誕 120 年を記念して、豊富な資料で椋の功績と作品を紹介するとともに、関連イベントを開催しました。また、企画展「向田邦子のおいしい時間」、「生誕 140 年 山本實彦と改造社」を開催し、鹿児島にゆかりのある作家や作品の魅力について、市内外に情報発信しました。

なお、7月には、メルヘン館と合わせた開館以来の入館者が 400 万人に達しました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

常設展示室各コーナーの展示資料を入れ替え、再来館者にも新たな視点で文学への興味関心を深めていただけるように努めました。

ア 鹿児島ゆかりの作家たち（導入展示）

節目の年を迎えた常設展示作家を中心に、相応しいテーマを設けて紹介しました。

期間	テーマ	展示資料
4/12～6/30	作家たちの学生時代	向田邦子 小学校時代の賞状、梅崎春生 弟・忠生あて葉書、杉田久女 女学校時代の答案用紙
7/1～10/11	没後 50 年 有島生馬	原稿「思い出の我」（複製）、図書『海村』、図書『片方の心』
10/12～12/28	作家と食と酒	海音寺潮五郎 薩摩切子、林芙美子 愛用の器、雑誌「酒」昭和 39 年 10 月号（梅崎春生「私のさかな」掲載）
1/2～3/31	生誕 200 年 税所敦子	図書『心つくし』、色紙「梅花何方 若菜つむをとめにとへと廣きのうめのありかはしらぬなりけり」、短冊「月前花 このはるは月のさかりにさき出でてよるさへにほふやまさくらかな」

イ ゆかりの作家たちの情熱（5人の作家）

5人の作家について、資料及びパネルの入替えを行いました。

時期	作家	展示資料	新規展示数
9月	椋鳩十	書幅「道在雑草中」、原稿「ヤクザル大王」、取材ノート（離島）、図書『片耳の大鹿』、雑誌切抜「奄美のシシ」（「読切特選集」昭和42年5月号）等	17点
3月	海音寺潮五郎	原稿「西郷隆盛」（複製）、図書『続・平将門（一）』、構想メモ ドラマ「風と雲と虹と」タイトル案 等	11点
	林芙美子	色紙「花のいのちはみじかくて苦しきことのみ多かりき」（複製）、図書『武漢攻略に従軍して』、封書 木内高音宛、太宰治 図書『ヴィヨンの妻』 等	17点
	椋鳩十	図書『山窩調』、詩稿「魂を盗んだ話」、雑誌「Rien」、原稿「鹿児島高等看護学院校歌」、創作ノート 校歌集 等	17点
	梅崎春生	雑誌「龍南」、書幅「死ぬまでは歩みつづけねばならぬ」、創作ノート「つむじ風ノオト」、免状 囲碁四段 等	19点
	島尾敏雄	雑誌「光耀」、図書『単独旅行者』、原稿「誘導振」（『魚雷艇学生』）、草稿「その夏の今は」、誓約書「生涯を通じての誓い（写）」（複製）等	13点

ウ 向田邦子の世界

「向田邦子の世界」コーナーの資料及びパネルの入替えを行いました。

時期	展示資料	展示数
3月	雑誌切抜「鹿児島感傷旅行」、雑誌「anan」、草稿「冬の運動会」、原稿「銅鼓」、小糸源太郎書「春立つや悲しきものは象の芸」、ローベル・クーチュリエ画「裸婦」、鶴賀伊勢太夫レコード「新内『花井お梅－浜町河岸の段』」、テレビ台本「阿修羅のごとく」、Gucciの鞆 等	46点

エ 鹿児島文学の群像（22人の作家）

常設展示の22人の作家の資料の入替えを行いました。

時期	展示資料	新規展示数
11月	有島武郎 雑誌「泉」大正12年5月号、有島生馬 雑誌「白樺」明治44年8月号、里見弴 色紙「眼高手低 横行自在」(複製)、昇曙夢 図書『露國現代の思潮及文学』、山本實彦 雑誌「文藝」昭和8年創刊号、古木鐵太郎 短冊「心は直き一つ心」(複製)、妻木新平原稿「妻の従軍」(複製)、平林彪吾 雑誌「短篇小説」昭和14年9月号、一色次郎 草稿「水天宮 赫夜姫」、黒田三郎 書「バスのなか」(複製)、八田知紀 図書『しのぶぐさ』、税所敦子 短冊「朝霞いさり火のけぶりは消えてほのぼのとあけ行なみにたつかすみかな」、黒田清綱 原稿「黒田清綱談話速記録」(複製)、高崎正風 図書『たづがね集』、吉井勇 雑誌「明星」複製版 明治38年5月号、萬造寺齊 色紙「うつくしくのびゆくものに歌こころひそめつつわがいのちゆたけし」、森園天涙 歌稿(複製)、山口誓子 図書『句集凍港 決定版』、杉田久女 色紙「研して山ほとゝき須ほしいまゝ」(複製)、篠原鳳作 雑誌「傘火」昭和10年6月号、藤後左右 図書『新樹並びなさい』、福永耕二 色紙「栗や柿けふ團欒のことは富む」等	40点
3月	有島武郎 愛用ペンシル、有島生馬 原稿「思い出の我」(複製)、里見弴 原稿「無法人」、昇曙夢 図書『露國文豪 ゴーゴリ』、山本實彦 雑誌「改造」創刊号、古木鐵太郎 雑誌「心」昭和31年2月号、妻木新平原稿「愛憎」、平林彪吾 映画ポスター「君に捧げし命なりせば」、一色次郎 図書『戦国快男児』、黒田三郎 詩稿「遠からん者は音にもきけ」、八田知紀 秤、税所敦子 図書『税所敦子刀自全』、黒田清綱短冊「初秋露 秋といへばやがてもこぼれ初にけりつゆは草木の涙ならねど」、高崎正風 歌幅「ふぢのはなにほへる春のみやまへにたらぬはたかしみねのしらくも 惟喬親王」吉井勇 図書『仇情』、萬造寺齊 図書『山嶽頌』、森園天涙 遺品 文鎮、杉田久女 遺品 かんざし、山口誓子 色紙「匙なめて童たのしも夏氷」、篠原鳳作 日記帳(複製)、藤後左右 色紙「大きい波の前を気もそぞろに走る春の波」、福永耕二 色紙「風と競ふ帰郷のこころ青稲田」等	146点

オ 本のひろば(特集)

芥川賞・直木賞の受賞作など、最新の出版物の紹介や展示作家の関連本の展示などを行いました。

時期	テーマ	展示資料
4月	作家と古典文学	谷崎潤一郎『源氏物語』 吉井勇『伊勢物語』 島尾敏雄、堀田善衛『徒然草』 芥川龍之介『羅生門・鼻』 等
8月	博物館実習生によるテーマ展示	棕鳩十『月の輪グマ』 林芙美子『下駄で歩いた巴里』 有島武郎『一房の葡萄』 等
8月	第171回 芥川賞・直木賞 受賞作品	朝比奈秋『サンショウウオの四十九日』 松永K三蔵『バリ山行』 一穂ミチ『ツミデミック』

1月	第172回 芥川賞・直木賞 受賞作品	安堂ホセ『D'TOPIA』 鈴木結生『ゲーテはすべてを言った』 伊与原新『藍を継ぐ海』
----	--------------------	---

カ 本のひろば（ランキングコーナー）

リレー方式で、さまざまな分野で活躍されている方に独自のランキングを作っていただき、その本をコメント入りで紹介し、展示しました。

期間	テーマ	紹介者
4月～6月	現役教師が子育てや学級経営に悩んでいる方に贈りたい本	城ヶ崎滋雄（鹿児島県公立学校講師）
7月～9月	あなたをコケの世界へ招待する本たち	大水孝介（屋久島町地域おこし協力隊）
10月～12月	「美術解剖学研究室」所属の画家が選ぶ、ひとのからだに関する本	マスコマユ（画家）
1月～3月	痛みとともに、生きていく。～考えるための海外小説5選～	川目七生（東京藝術大学美術解剖学研究室博士課程1年）

キ 本のひろば（おすすめの一冊）

かごしま近代文学館スタッフのお勧めの本を紹介しました。

期間	展示資料
4月～6月	吉井勇『源氏物語情話』（新潮社）
7月～12月	潮田登久子『マイハズバンド』（Touch press）
1月～3月	津村記久子『うそコンシェルジュ』（新潮社）

③ ホール（文学ホール、メルヘンホール）使用の許可等の業務

ホールの各施設、備品等の使用に係る受付・許可及び使用料の収納事務を行いました。また、ホールの空き状況を館のホームページで公開しました。

区分	貸ホール日数	当館使用日数	総使用日数
	稼働率	稼働率	稼働率
文学ホール	3日	119日	122日
	1.0%	38.6%	39.6%
メルヘンホール	29日	93日	122日
	9.4%	30.2%	39.6%

※ 文学ホール 200人収容　メルヘンホール 100人収容

④ モニタリング（メルヘン館と共通）

常設展示や特別企画展の観覧者や、講座、イベント等の参加者にアンケートを実施しました。これに基づき、利用者の傾向、要望、意見等を分析、検討し、可能な限り迅速に対応しました。

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展

「生誕 120 周年記念 椋鳩十 それぞれの顔」

詩人、山窩小説家、児童文学作家、図書館館長、教師など、様々な顔を持つ椋鳩十の生涯を豊富な資料で辿りました。

展示資料	開催期間	入場者数
「晴天」、「リアン」、「文抄」「紀」、『山窩調』、『鷺の唄』、「少年倶楽部」、「銀河」、取材ノート「孤島の野犬」、原稿「母と子の 20 分間読書運動」、草稿「カッパとちからもち」、草稿「尻っぴり虫」、海音寺潮五郎 椋鳩十あて書簡、椋鳩十 海音寺潮五郎あて書簡、海音寺潮五郎 歌幅、原稿「マヤの一生」 等 約 120 点	9/26～10/28 29 日間	1,325 人

《関連事業》

ア 朗読の時間「詩人・久保田彦保の顔」（プレイベント）

出演	内容	会場	開催日	参加者数
きんめるサポーター (朗読ボランティア)	「朝の妹に」「十日頃の月」 「ダンの仙術」「スフィンクスを売る」「壺仙人」「輪の中の花嫁」「しまトカゲ」 「ブタ」「セミ」	常設展示室	9/23	12 人

イ 講演会

講師	内容	会場	開催日	参加者数
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	敗戦後の追放図書と椋鳩十	メルヘンホール	9/29	44 人
久保田里花（椋鳩十孫）	祖父・椋鳩十の文学を語る		10/20	55 人
三宅環（三宅美術館学芸員）	椋鳩十と薩摩伝統工人たち		10/27	30 人

ウ 親子でライブペインティング「椋鳩十の作品に登場する動物たちを描こう」

講師	内容	会場	開催日	参加者数
江夏潤一（イラストレーター）	「うさぎのぼうけん」 「お月さまの見たどうぶつえん」 「大造じいさんとガン」 「月の輪ぐま」 「ひとりぼっちのつる」 「森のなかよし」 「ゆきこんこんきつねこんこん」	エントランス、ライブラリー、親子読書コーナー	10/6	23人

② 企画展

ア 「向田邦子のおいしい時間」

向田邦子の食にまつわるエッセイを紹介するとともに、愛用の器や調理道具、自筆レシピ等を展示しました。

展示資料	開催期間	入館者数
「う」の抽斗、自筆レシピ、エプロン、ママやお品書き・暖簾・開店挨拶文原稿、愛用の調理器具・器等 約260点	11/6～1/27 69日間	3,448人

《関連事業》

講演会「向田邦子がまいた“食いしん坊の種”」

講師	会場	開催日	参加者数
甲斐みのり（文筆家）	文学ホール	11/30	99人

イ 「生誕140周年記念 山本實彦と改造社」

今から100年以上前の1919（大正8）年4月に創刊された総合雑誌「改造」と、薩摩川内市出身の山本實彦が興した改造社の出版活動を紹介しました。

展示資料	開催期間	入館者数
「改造」創刊号、『現代日本文学全集』、山本實彦『父母の面影』、山本實彦 林芙美子あて書簡 等 約100点	1/29～3/3 30日間	845人

③ 収蔵資料の充実

ア 文学資料の収集・保存

常設展示作家の資料、鹿児島ゆかりの文学作品及び文芸雑誌等の収集を行いました。なお、文学資料等の収集については、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館資料収集検討委員会に諮った結果を鹿児島市に報告し、購入・寄贈の手続きをとりました。また、資料については、博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し収蔵庫に保存しました。

(主な収集資料)

受入区分	作家名	資料名
購入	昇曙夢	草稿「都会詩人ブロック」
	山本實彦	雑誌「改造」創刊号
	斎藤茂吉	色紙「高千穂の山のいただきに息つくや大きかも寒きかもあめの高山」
寄贈	高崎正風	短冊「むらくもに月はかくれておほかみの鳴く〔こゑたかし〕みねのかやはら」
	海音寺潮五郎	原稿「タバコ戦記」 印刷物「馬來会（マレー会）名簿」
	梅崎春生	色紙「都府樓纒瓦色看 観世音寺只聞鐘聲」 遺品 武田泰淳揮毫の湯呑み レコード「NHK 朝の訪問 梅崎春生（於 蓼科高原山荘）」 雑誌「東京市職員文芸部雑誌」 宝文館「若草」編集部 梅崎恵津あて葉書 吉行淳之介 梅崎春生あて葉書
	山口誓子	青山義雄 画「桜島」 スーツ（上下）
寄託	海音寺潮五郎	柴田四郎あて書簡
	有島生馬	書幅「咏蝶」
	里見弴	式場隆三郎あて葉書
	山口誓子	原稿「残蟲」
	一色次郎	図書『南極めざして』

イ 収集文学資料の整理

収集した文学資料の装備、データ入力を行いました。

ウ 収蔵資料の修復

作家名	資料名	点数
里見弴	原稿「火蛾」	原稿 2 枚

エ 収蔵資料のレプリカ製作

作家名	資料名	点数
椋鳩十	草稿「カップとちからもち」（「ほうまんの池のカップ」）	原稿 1 枚
向田邦子	原稿「伽俚伽」	原稿 5 枚
里見弴	書画 小穴隆一「安城家の兄弟」装丁画	原画等 4 点

オ 収蔵資料の閲覧・撮影・貸出

研究者や文学館、報道機関等に、当館の資料を活用してもらいました。

区分	主な資料	件数
閲覧	島尾敏雄 自筆資料、向田邦子 原稿、黒田三郎 自筆資料 等	5 件
撮影	林芙美子 書簡、椋鳩十 雑誌、島尾敏雄 自筆資料、向田邦子 原稿、杉田久女 書画 等	10 件
貸出	海音寺潮五郎 写真、椋鳩十 写真、向田邦子 写真、杉田久女 写真 等	13 件

④ 海音寺潮五郎を顕彰する事業 【財団自主事業】

ア 文学資料の整理・入力等

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄贈を受けた資料の整理・入力等を行いました。

イ 著作権の管理及び活用

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄付を受けた著作権の管理を行いました。

ウ 視聴覚資料のデジタルデータ化業務

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄贈を受けたカセットテープの一部をデジタルデータ化しました。

⑤ 入館者 400 万人達成記念セレモニー（メルヘン館と共通）

7 月 18 日、メルヘン館と合わせて 400 万人目の入館者を迎え、記念品の贈呈等を行いました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

ア 小説鑑賞講座「川端康成を読む」

川端康成の『眠れる美女』をテキストに、作品を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール	6 月～3 月 各第 4 金曜日※ (10 回)	定員 70 人
	又は 文学ホール		応募 96 人 延べ受講者数 551 人

※9 月は第 3 金曜日に実施。

イ 「戦後の小説を読む（その三）」

昭和 20 年代に発表された椎名麟三、太宰治、野間宏、武田泰淳、尾崎一雄らの小説について、テキストを基に学びました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～3月 各第1土曜日※ (10回)	定員 70人 応募 75人 延べ受講者数 534人

※1月は第2土曜日に実施。

ウ 文学入門講座「《解説＝快読 夏目漱石》後期三部作・第二弾 問題作『行人』を読む」

夏目漱石の後期三部作（「彼岸過迄」「こゝろ」）の一つ「行人」を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
村瀬士朗（鹿児島国際大学教授）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～10月 各第2日曜日※ (5回)	定員 60人 応募 49人 延べ受講者数 157人

※7月は第2土曜日、9月は第4日曜日に実施。

エ 朗読ボランティアステップアップ講座

かごしま近代文学館のボランティア「きんめるサポーター」に向けて、「朗読の時間」で朗読を行う上での実践指導を行いました。

講師	会場	開催日	実績
浜本麗歌（朗読家）	メルヘンホール	5/11、9/1、 10/21、2/17 (4回)	延べ受講者数 14人

オ 日曜文学講座「文学はミステリでできている 津村記久子『つまらない住宅地のすべての家』」

津村記久子『つまらない住宅地のすべての家』を朗読を交えながら読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
廣尾理世子（鹿児島純心女子高等学校教諭）	メルヘンホール 又は 文学ホール	11月～3月 各第3日曜日※ (5回)	定員 60人 応募 42人 延べ受講者数 165人

※12月、3月は第2日曜日に実施。

カ 俳句ことはじめ

俳句づくりの基本について、吟行や句会を交えて学びました。

講師	会場	開催日	実績
丸山眞（俳人、俳句雑誌「火の島」編集・発行人）	メルヘンホール	11月～3月 各第3土曜日 (5回)	定員 30人 応募 22人 延べ受講者数 81人

キ 文学講座「鹿児島ゆかりの作家を学ぶ～一色次郎文学について～」

常設展示作家の一色次郎について、その生涯と作品について学びました。

講師	会場	開催日	実績
鈴木優作（鹿児島大学法文学部 附属「鹿児島の近現代」教育研 究センター特任助教）	メルヘンホール	12/22	定員 50人 受講者数 28人

ク 脚本リーディング講座「向田邦子脚本『眠り人形』」

向田邦子脚本のドラマ「眠り人形」のリーディングをとおして、作品の魅力を伝えました。

講師	会場	開催日	実績
福藪宏美（劇団 LOKE 代 表、俳優、劇作家）	メルヘンホール	1/11、1/18、 1/25、2/8、2/15 （5回）	定員 10人 応募 13人 延べ受講者数 48人

② イベント等

ア ゴールデンウィークイベント 4/27～5/7 （メルヘン館と同時開催）

(ア) ブックマルシェ

本のフリーマーケットを開催しました。

出店数	会場	開催日	参加者数
延べ21店	エントランス及び からくり時計前広場	5/3、5/4 （2日間）	1,080人

(イ) リサイクルブックエイド～本で寄付するプロジェクト～

不要になった古本を集め、アジアにおける図書館運営や図書館員の育成、絵本出版などに役立つ活動を支援しました。

収集冊数	寄付額	開催日	参加者数
822冊	8,002円	4/27～5/6	26人

イ 声で届ける向田邦子～食と猫とテレビと、時々音楽と【新規】

向田邦子の食、猫、ドラマに関するエッセイの朗読を、向田所蔵のレコードの鑑賞や、合間のトークと共に楽しみました。

出演	会場	開催日	参加者数
小泉今日子（俳優、歌手、文筆家、 プロデューサー）	文学ホール	12/15 （2回公演）	358人

ウ 朗読の時間

常設展示室において、「きんめるサポーター」（朗読ボランティア）が、かごしま近代文学館の展示作家や鹿児島ゆかりの文学作品を中心に、文学作品の朗読を行いました。

テーマ	作品	開催日	参加者数
『源氏物語』朗読会	吉井勇「桐壺」「御法」（『源氏物語情話』）、角田光代訳「若紫」（『源氏物語』1巻）	5/26	19人
詩人・久保田彦保の顔 （特別企画展「椋鳩十それぞれの顔」関連事業）	「朝の妹に」「十日頃の月」「ダンの仙術」「スフィンクスを売る」「壺仙人」「輪の中の花嫁」「しまトカゲ」「ブタ」「セミ」	9/23	12人
「食・食・食」朗読会	向田邦子「海苔と卵と朝めし」「楽しむ酒」、黒田三郎「夕方の三十分」「買物」、小川糸「味噌を作る」「旅のお供 10月30日」「昨日のパスタ 11月2日」	11/2	15人
猫を愛でる朗読会	向田邦子「猫自慢」「マハシャイ・マミオ殿」「美醜」、梅崎春生「大王猫の病気」、椋鳩十「動物のスケッチ ネコ」	2/22	23人
合計		4日	69人

エ 学芸員によるギャラリートーク（メルヘン館と共通）

開催中の特別企画展等の見どころを、学芸員が分かりやすく解説しました。

内容	開催日	参加者数
特別企画展「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」	8/17	23人
企画展「向田邦子のおいしい時間」	11/17	15人
企画展「生誕140周年記念 山本實彦と改造社」	2/9	6人
合計	3日	44人

オ ブックトーク～書店員おすすめの本の紹介～

講師	会場	開催日	参加者数
諏訪田寛人（古本屋ブックスパーチ） 臼井洋明（ジュンク堂書店鹿児島店）	ライブラリー	1/13	29人

③ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

ア 児童文学創作講座

鹿児島市の委託を受け、児童文学作家を講師に、児童文学についての基礎的知識や創作方法等の座学、受講生の作品の添削指導等を通して、児童文学の書き手を育てる講座を実施しました。

講師	会場	開催日	参加者数
村中李衣（児童文学作家）	メルヘンホール	1/26	14人
		2/9	14人
		3/9	14人
合 計		3日	42人

イ 児童文学者交流事業【新規】

鹿児島市の委託を受け、児童文学作家を小中学校に派遣し、子どもたちとの交流体験を行いました。

講師	開催日	実施校	内容	参加者数
村中李衣（児童文学作家）	1/27	花尾小	ワークショップ「推理小説を読んで謎解きに挑戦しよう！」	16人
		黒神中	講話	2人
合 計				18人

④ 関係機関との連携、共催事業・協力

事業名	開催日	参加者数
スタンプラリー「かごしま春の本めぐり」 （共催）天文館図書館、古書リゼット、古本屋ブックス パーチ、books selva、ジュンク堂書店	4/27～5/12	—
ナマイキ VOICE「カルチャーフェス～本とカレーと音楽と～」 （「あのひとの本棚・向田邦子」） （主催）K T S鹿児島テレビ	6/29～6/30	—
安部公房生誕100年 戦後文学の最高傑作『砂の女』を読む （共催）鹿児島国際大学	7/7	43人
かごしままちなか文化彩 （主催）鹿児島市	10/26	107人
認定絵本土養成講座 （主催）鹿児島女子短期大学	11/21	12人

⑤ 実習等の受入れ等（メルヘン館と共通）

内容	校数	人数
博物館実習	2校	3人
中高生職場体験学習	5校	12人
教職員10年経験者研修	1校	2人

⑥ ボランティアの活用（メルヘン館と共通）

館の運営や事業、広報活動のサポートをしていただくボランティア「きんめるサポーター」を募集し、さまざまな活動を行っていただきました。

内容	実施（回）	参加者数
朗読、読み聞かせ、発送作業、配架整理、イベント補助など	111回	延べ208人

令和6年度ボランティア登録者数 44人

⑦ 広報活動（メルヘン館と共通）

行事や催し物について、「館だより」を隔月発行し、市内の保育園・幼稚園・小学校等に配布しました。

特別企画展や企画展、講座、イベントなどの開催については、市民のひろばや市政広報番組への広報協力要請はもとより、新聞社、放送局、地元情報誌への情報提供、学校や全国の文学館・博物館・図書館等の文化施設、近隣のホテルや書店等へポスター・チラシを配布するなどして、広報活動に努めました。

最新の情報はホームページに掲載するほか、即応性が高いフェイスブック、エックス、インスタグラム等のソーシャルメディアを活用し、周知を図りました。

⑧ 職員研修（メルヘン館と共通）

資料保存やソーシャルメディア戦略、ミュージアムグッズ開発に関する研修会等に参加し、職員の館運営、企画、広報等における資質向上に努めました。

また、地震や火災等発生時における避難誘導訓練やAED講習など、緊急事態に対応するための研修を行いました。

(4) 利用者サービス事業（メルヘン館と共通）

引き続き公衆電話を設置したほか、ミュージアムショップにおいて特別企画展関連書籍、グッズや地元出版社の書籍及び当館の所蔵品等をモチーフにしたオリジナルグッズ等の販売を行い、来館者へのサービス向上に努めました。

かごしまメルヘン館

魅力的で親しみやすい館づくりを目指し、常設展示やエントランスホール等の季節展示のほか、各種イベントの充実に努めました。

また、夏休みには、子どもから大人まで楽しめる催し物として、特別企画展「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」や関連イベントを開催しました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

資料の入替えを定期的に行いました。

ア 人形展示コーナー（地下1階）

期間	展示内容
5/11～8/30	ワールドツアーへようこそ！
8/31～11/15	大好き！動物たち
11/16～1/23	メリークリスマス&ハッピーニューイヤー
1/24～3/31	プリンセスたち&ミニ展示 猫たち

イ 絵本の小部屋（絵本のお城3階）

期間	展示内容
6/6～9/19	だいすき！ねこのえほん (特別企画展「隙あらば猫 町田尚子原画展」連動企画)
9/20～12/5	どうぶつのえほん (特別企画展「椋鳩十それぞれの顔」連動企画)
12/6～2/27	蛇と冬の絵本
2/28～3/31	うららかなはるのえほん

ウ メルヘンアトリエ（おはなしの散歩道壁面）

期間	展示内容
6/23～11/21	はなび
11/22～12/25	メルヘン館のなかまたち（クリスマスバージョン）
12/26～3/24	メルヘン館のなかまたち（お正月バージョン）
3/25～3/31	メルくん・ルンちゃんをさがせ！

エ おはなしのまち（1階）

「おはなしのお家」（お菓子の家、森の家及びお城）、おもちゃ及び絵本等の定期的な入替えを行いました。

オ エントランスホール

期間	展示内容
4/20～7/11	折紙制作「鎧兜」
7/12～9/29	「隙あらばうちの猫」 (特別企画展「隙あらば猫 町田尚子原画展」連動企画)
9/30～11/13	「好きな本を紹介しよう」
11/14～12/25	クリスマスツリー
12/26～2/21	折紙制作「十二支」
2/22～3/31	折紙制作「七段飾りのおひな様」

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」

「隙あらば猫」が座右の銘の人気絵本作家・画家の町田尚子の、絵本原画や絵画、ラフ、貴重な制作資料のほか、本展のために制作された作品等を展示しました。

展示資料	開催期間	入場者数
絵本原画、装丁画、絵画、鹿児島会場描き下ろし作品「満月 トラベル」「魔法の本」「ティータイム」等 218点	7/12～9/2 46日間	10,706人

《関連事業》

ア 町田尚子サイン会

会場	開催日	参加者数
メルヘンホール	8/4（3回）	184人

イ おはなし会

出演	会場	開催日	参加者数
おはなしさんぽ	親子読書コーナー	7/13	32人
鹿児島女子短期大学児童文化研究部 (鹿児島女子短期大学との共催事業)		8/10	30人
合計		2日	62人

ウ 折り紙ワークショップ

内容	講師	開催日	参加者数
『ねこはるすばん』を折ろう	折遊かごしま	7/27	34人

② 収蔵資料の充実

人形資料等の収集・保存

博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し、収蔵庫に保存しました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

講座・教室名	講師	開催日	参加者数
わらべうた教室	三島理恵（松田ピアノ友社講師）	毎月第2金曜日※	146人
「お家で楽しむ絵本の時間」	森ゆかり（絵本専門士）	6/21	8人
折り紙ワークショップ「クリスマス」を折ろう	折遊かごしま	11/23	16人
「薩摩糸びな」手づくりワークショップ	新山禮子（工房「小澤人形」）	2/2	7人
読み聞かせボランティア養成講座【新規】	森ゆかり（絵本専門士）	3/8、3/9、3/16、3/22	述べ46人

※7月は第3金曜日に実施。

② イベント等

ア おはなし会・読み聞かせ

行事名	出演者	開催日	参加者数
えほんのじかん（幼児・小学生向け）	きんめるサポーター（読み聞かせボランティア）他	土曜日（第2を除く。）	537人
おはなしのじかん（乳幼児向け）	—	月曜日	555人
メルヘンおはなし会	おはなしさんぽ	第2土曜日（7、8月を除く。）	90人

イ ゴールデンウィークイベント 4/27～5/7（近代文学館と同時開催）

行事名	講師	開催日	参加者数
ワークショップ「おうち絵本をつくろう！」	原田美夏氏（イラストレーター）	5/3（2回）	34人
メルくんルンちゃんと写真を撮ろう	—	5/5（3回）	254人
ふるさと考古歴史館がやってきた（ふるさと考古歴史館との共働事業）	ふるさと考古歴史館	5/6	35人

ウ 親子でライブペインティング

内容	講師	開催日	参加者数
「椋鳩十の作品に登場する動物たちを描こう」(特別企画展「椋鳩十それぞれの顔」関連事業)	江夏潤一(イラストレーター)	10/6	23人
キットパス エソラ体験コーナー	きんめるサポーター		33人
合 計			56人

エ お正月イベント

行事名	開催日	参加者数
からくり人形実演会「椅子乗り」「ハーブ弾き」	1/2	52人
メルくんルンちゃんと写真を撮ろう	1/3	135人
合 計	2日	187人

③ 関係機関との連携、共催事業

内容	開催日	参加者数
メルヘンコンサート&おはなし会 in 山形屋 (共催) 宝山ホール、山形屋	9/16 (2回)	215人
春のふれあいコンサート&メルヘンおはなし会 (谷山サザンホール、ふるさと考古歴史館との共働事業)	3/2	342人

④ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

ア 第46回 子どもたちに聞かせたい創作童話

鹿児島市の委託を受けて、「子どもたちの夢をはぐくみ、美しい心を育てたい」という願いのもと、創作童話を募集し、その優秀作品を「子どもたちに聞かせたい創作童話」作品集として刊行する事業を実施しました。

募集区分	第1部 保育園・幼稚園児、小学校低学年児童向けの作品 第2部 小学校中・高学年児童向けの作品
募集期間	6/1～9/13
応募実績	第1部 108点 第2部 90点 合計 198点
選考委員	勝本祥治(鹿児島市立坂元台小学校長) 加峯美由紀(鹿児島市立草牟田小学校長、鹿児島市学校図書館協議会会長) 久保田里花(児童文学作家、椋鳩十研究家) 小山陽子(鹿児島市立図書館図書係主幹兼図書係長) 竹ノ内三千代(鹿児島市立喜入小学校長)
表彰式	2/23 28人出席

受賞作品 及び 入選者	第1部	特選	海からの電話	中村れいこ
		入選	ふしぎな野の花カフェ	オガワメイ
		入選	まほうのおえかきペン	にしの桃子
		入選	わたしもおねえちゃん	わしおちえ
		佳作	ノラネコ学園へようこそ	かんだゆう子
	第2部	特選	あかり	こんどうみえこ
		入選	おばあちゃんのハレの日ごはん	ふじのたかみ
		入選	お雪のぞうり	吉村洋一
		入選	ぼくの素敵な友だち	樋口達也
		佳作	灰色たんぼぼ	高橋生馬

イ 「金の鈴」読み聞かせ会

小学生の読書活動へのきっかけづくりとするため、校区公民館等でのボランティアによる読み聞かせ会を鹿児島市の委託を受けて実施しました。

実施時期	協力団体数	実施(回)	参加者数
夏休み期間中(7/22~8/26)	13	34	955人
冬休み期間中(12/25~12/28)	3	9	157人
春休み期間中(3/26~3/28)	2	2	121人
合計	18	45	1,233人

⑤ おはなし小道具の貸出し

市内の読み聞かせボランティアグループを対象に、大型絵本、大型紙芝居などの貸出しを行いました。

貸出件数 8件

令和6年度 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 利用実績
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

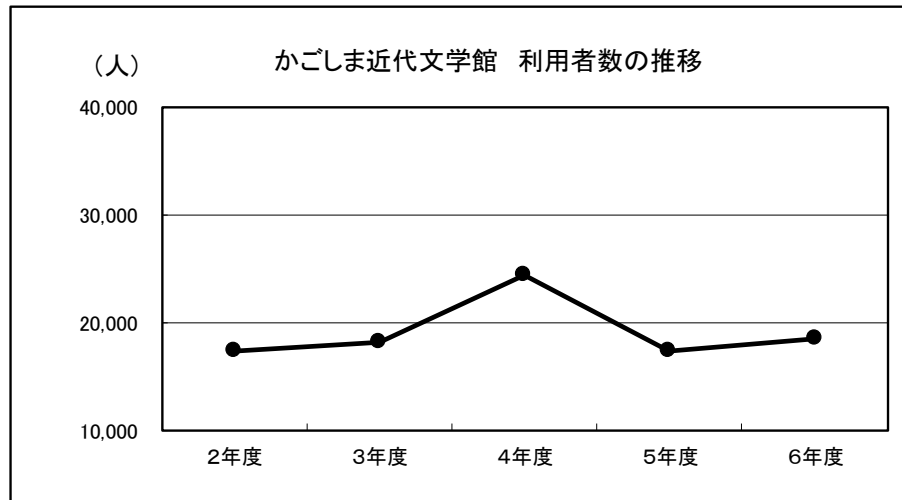
(単位:人)

区分			6年度	5年度	対前年	対前年比(%)		
かがしま近代文学館	常設展示	有料	個人	5,220	4,357	863	119.8	
			団体	880	1,105	△ 225	79.6	
			年間パスポート	524	503	21	104.2	
			減額	福祉施設の活動(半額)	0	0	0	-
				※ 団体料金適用	462	557	△ 95	82.9
		小計	7,086	6,522	564	108.6		
		免除	教育施設の活動	1,136	797	339	142.5	
			福祉施設の活動(全額)	99	83	16	119.3	
			敬老パス・ 身体障害者手帳等・その他	3,048	2,656	392	114.8	
		小計	4,283	3,536	747	121.1		
	無料	幼児	466	327	139	142.5		
	計	11,835	10,385	1,450	114.0			
	特別企画展	1,325	594	731	223.1			
	各種講座・講演会・催しもの	3,509	4,085	△ 576	85.9			
	アウトリーチ	0	0	0	-			
	ライブラリー	1,100	984	116	111.8			
	貸しホール利用者	672	1,306	△ 634	51.5			
	合計	18,441	17,354	1,087	106.3			
	かがしまメルヘン館	常設展示	有料	個人	34,181	33,876	305	100.9
団体				6,649	6,409	240	103.7	
年間パスポート				3,999	4,712	△ 713	84.9	
減額				福祉施設の活動(半額)	8	14	△ 6	57.1
				※ 団体料金適用	769	819	△ 50	93.9
小計			45,606	45,830	△ 224	99.5		
免除			教育施設の活動	3,339	3,117	222	107.1	
			福祉施設の活動(全額)	1,559	1,240	319	125.7	
			敬老パス・ 身体障害者手帳等・その他	5,429	4,720	709	115.0	
小計			10,327	9,077	1,250	113.8		
無料		幼児	22,256	22,886	△ 630	97.2		
計		78,189	77,793	396	100.5			
特別企画展		10,706	11,460	△ 754	93.4			
各種講座・催しもの		2,931	3,213	△ 282	91.2			
アウトリーチ		0	0	0	-			
親子読書コーナー		8,631	8,002	629	107.9			
合計		100,457	100,468	△ 11	100.0			
かがしま近代文学館・メルヘン館 合計			118,898	117,822	1,076	100.9		

※ 団体料金適用:カゴシマシティビュー1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケットなど

5年間の利用者数の推移

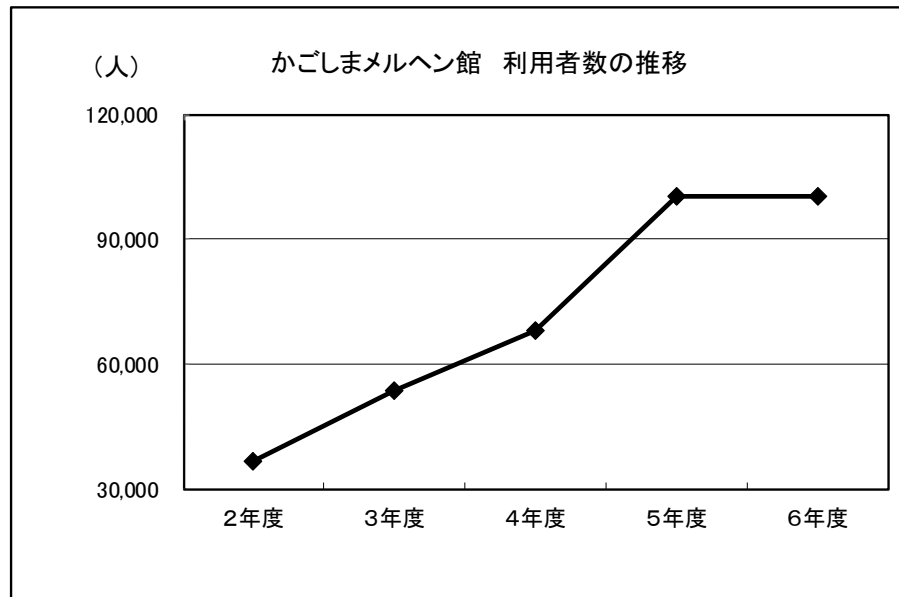
◎かごしま近代文学館



(人)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	平均
利用者数	17,240	18,099	24,400	17,354	18,441	19,107

◎かごしまメルヘン館



(人)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	平均
利用者数	36,721	53,649	68,079	100,468	100,457	71,875

(令和3年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月14日から9月30日まで全館休館
1月27日から3月6日までメルヘン館のみ休館

(令和2年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月18日から5月6日まで全館休館

令和6年度 かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 観覧料等収納額

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

区分		6年度		5年度		対前年		
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	
かがしま近代文学館	常設展示観覧料	個人	3,599	964,200	3,837	1,020,550	△ 238	△ 56,350
		団体	863	97,120	1,050	109,280	△ 187	△ 12,160
		年間パスポート	174	93,400	198	105,800	△ 24	△ 12,400
		福祉施設の活動	0	0	0	0	0	0
		※ 団体料金適用	274	58,620	468	100,540	△ 194	△ 41,920
	計	4,910	1,213,340	5,553	1,336,170	△ 643	△ 122,830	
	特別展示観覧料	個人	390	228,900	332	194,700	58	34,200
		団体	15	7,500	55	27,500	△ 40	△ 20,000
		計	405	236,400	387	222,200	18	14,200
		ホール使用料	51	52,900	42	88,000	9	△ 35,100
	図録	360	298,800	380	321,850	△ 20	△ 23,050	
合計	5,726	1,801,440	6,362	1,968,220	△ 636	△ 166,780		
かがしまメルヘン館	常設展示観覧料	個人	21,023	5,513,700	25,399	6,728,350	△ 4,376	△ 1,214,650
		団体	6,453	775,840	6,055	731,720	398	44,120
		年間パスポート	771	424,900	1,426	794,000	△ 655	△ 369,100
		福祉施設の活動	8	675	8	975	0	△ 300
		※ 団体料金適用	428	81,540	672	140,620	△ 244	△ 59,080
	計	28,683	6,796,655	33,560	8,395,665	△ 4,877	△ 1,599,010	
	特別展示観覧料	個人	6,202	3,371,100	7,541	4,083,600	△ 1,339	△ 712,500
		団体	161	75,100	357	135,000	△ 196	△ 59,900
		福祉施設の活動	0	0	6	900	△ 6	△ 900
		計	6,363	3,446,200	7,904	4,219,500	△ 1,541	△ 773,300
合計	35,046	10,242,855	41,464	12,615,165	△ 6,418	△ 2,372,310		

※ 団体料金適用:カゴシマンティビュー1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケットなど

6 収蔵資料概況

作家別資料収集状況（平成5年度～令和6年度）

作家名	受入区分	特別資料										図書 雑誌	合計
		原稿	自筆資料	書簡	書画	印刷物	写真	映像資料	録音資料	遺品他	小計		
海音寺潮五郎	購入	11		12	4	1		4			32	223	255
	寄贈・寄託	288	221	834	52	225	9	24	181	1,843	1,485	3,328	
林 芙美子	購入	11		53	12	2		10	1	90	314	404	
	寄贈・寄託	5		10	4	2	8		68	97	271	368	
椋 鳩十	購入	9	11	1	6					27	186	213	
	寄贈・寄託	366	18	26	57	38	1	24	30	560	589	1,149	
梅崎春生	購入	24		14	9	25		6	20	98	309	407	
	寄贈・寄託	2	34	440	10	32	7		21	278	824	886	
島尾敏雄	購入	798	180	192	24	57	5	4	1	87	1,348	157	1,505
	寄贈・寄託	59	51	307	1	694	159	63	9	178	1,521	5,539	7,060
向田邦子	購入	8		1		25		725	72	4	835	320	1,155
	寄贈・寄託	150	9	180	40	3,113	5,171	631	394	1,482	11,170	1,491	12,661
有島武郎	購入	12	1	9	1			1		24	101	125	
	寄贈・寄託			2	6		2		13	23	11	34	
有島生馬	購入	6		1	10					17	16	33	
	寄贈・寄託			2	3					5	3	8	
里見 弴	購入	12	2		11			1		26	146	172	
	寄贈・寄託			2						2	2	4	
昇 曙夢	購入	2		3				2		7	29	36	
	寄贈・寄託									0	8	8	
山本寛彦	購入									0	48	48	
	寄贈・寄託			181	3				1	185	9	194	
黒田三郎	購入	4		1	2					7	48	55	
	寄贈・寄託	137	57	180	4	9	24		6	8	425	387	812
一色次郎	購入	8								8	56	64	
	寄贈・寄託					2	8			10	4	14	
妻木新平	購入								1	1	24	25	
	寄贈・寄託	301		1	8	12	29		80	431	57	488	
平林彪吾	購入			4		1				5	9	14	
	寄贈・寄託									0	13	13	
古木鏡太郎	購入				1					1	4	5	
	寄贈・寄託	34	1	26	8	8	67		2	146	70	216	
八田知紀	購入			1	8					9	7	16	
	寄贈・寄託								2	2	5	7	
高崎正風	購入			1	9				1	11	1	12	
	寄贈・寄託				1	21	11			33	4	37	
黒田清綱	購入	1		2	3					7	0	7	
	寄贈・寄託			1	9		2		1	12	42	54	
税所敦子	購入			8	27					35	5	40	
	寄贈・寄託				1					1	1	2	
杉田久女	購入			2	12					14	12	26	
	寄贈・寄託	2	11	259	120	58	318		43	811	368	1,179	
山口誓子	購入	4			20					24	52	76	
	寄贈・寄託	1			1	2	2		5	11	36	47	
吉井 勇	購入	11		75	25					111	67	178	
	寄贈・寄託			1						1	2	3	
森園天涙	購入	6			1					7		7	
	寄贈・寄託	573	6	2	7	1	90		64	743	749	1,492	
萬造寺齋	購入	1	1	1	19					22	7	29	
	寄贈・寄託	10	17	97	105	27	3		11	270	913	1,183	
藤後左右	購入				7					7	40	47	
	寄贈・寄託	13	127	2	21	32	27		63	285	265	550	
篠原鳳作	購入	9		1						10	1	11	
	寄贈・寄託	1	4	71	3	44	327	3	3	88	544	120	664
福永耕二	購入				2					2	4	6	
	寄贈	19		179	80	23	33		23	357	170	527	
その他	購入	46	3	69	91	32	1	79		32	353	23,601	23,954
	寄贈	314	275	453	101	213	687	22	48	104	2,217	19,669	21,886
小計	購入	983	198	451	304	143	6	832	74	147	3,138	25,787	28,925
	寄贈・寄託	2,275	831	3,256	645	4,556	6,985	752	505	2,724	22,529	32,345	54,874
合計		3,258	1,029	3,707	949	4,699	6,991	1,584	579	2,871	25,667	58,132	83,799

※資料受入時の点数のため、実際の収蔵点数とは合致しない場合があります。

7 管理運営

(1) 利用者数

① かがしま近代文学館 年度別利用者数（令和2年度～令和6年度）

(単位:人)

区分・年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
常設展示	個人	一般	1,809	2,904	5,259	3,964	4,786
		小中学生	158	214	239	393	434
		小計	1,967	3,118	5,498	4,357	5,220
	団体	一般	31	53	123	82	100
		小中学生	351	141	86	1,023	780
		小計	382	194	209	1,105	880
	団体料金適用		121	212	408	557	462
	年間 パスポート (1回目)	一般	267	274	232	199	211
		小中学生	19	19	17	14	13
		小計	286	293	249	213	224
	年間 パスポート (2回目以降)	一般	201	268	200	288	297
		小中学生	8	12	8	2	3
		小計	209	280	208	290	300
	福祉施設の活動(50%減額)		0	0	0	0	0
	計		2,965	4,097	6,572	6,522	7,086
	免除	敬老パス	226	329	877	350	398
		身体障害者手帳等	175	264	507	617	698
教育施設の活動		2,701	3,995	5,291	797	1,136	
福祉施設の活動		72	44	129	83	99	
新一年生パスポート		5	17	8	11	11	
視察等・その他		1,062	1,168	1,674	1,678	1,941	
計		4,241	5,817	8,486	3,536	4,283	
無料	幼児	226	217	277	327	466	
	その他	0	0	0	0	0	
	計	226	217	277	327	466	
計		7,432	10,131	15,335	10,385	11,835	
館主催 行事	特別企画展	0	1,044	3,486	594	1,325	
	講演会・講座等	1,600	1,601	1,567	2,118	1,848	
	出前	0	0	0	0	0	
	その他の催し等	※1 6,227	※2 3,999	1,078	1,967	1,661	
計		7,827	6,644	6,131	4,679	4,834	
ライブラリー		1,157	926	1,662	984	1,100	
文学ホール利用者(貸出)		674	188	901	579	88	
メルヘンホール利用者(貸出)		150	210	371	727	584	
合計		17,240	18,099	24,400	17,354	18,441	
開館日数(日)		292	268	307	308	308	
1日平均利用者(人)		59	68	79	56	60	

※1:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大増刊号」入場者数5,714人を含む。

※2:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大増刊号」入場者数3,013人を含む。

(開催期間 令和2年3月10日から4月12日まで 延べ入場者数8,727人)

② かごしまメルヘン館 年度別利用者数（令和2年度～令和6年度）

（単位：人）

区分・年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
常設展示	個人	一般	8,283	11,581	16,740	26,805	26,947	
		小中学生	1,924	3,399	4,040	7,071	7,234	
		小計	10,207	14,980	20,780	33,876	34,181	
	団体	一般	37	317	304	418	321	
		小中学生	704	890	753	5,991	6,328	
		小計	741	1,207	1,057	6,409	6,649	
	団体料金適用		164	265	485	819	769	
	年間 パスポート (1回目)	一般	1,429	1,403	1,708	1,387	1,186	
		小中学生	125	130	238	183	171	
		小計	1,554	1,533	1,946	1,570	1,357	
	年間 パスポート (2回目以降)	一般	2,399	2,595	2,830	2,911	2,440	
		小中学生	137	146	234	231	202	
		小計	2,536	2,741	3,064	3,142	2,642	
	福祉施設の活動(50%減額)		2	0	0	14	8	
	計		15,204	20,726	27,332	45,830	45,606	
	免除	敬老パス		262	254	353	491	551
		身体障害者手帳等		664	700	1,042	1,531	1,474
		教育施設の活動等		3,447	4,653	6,381	3,117	3,339
		福祉施設の活動(免除)		468	452	709	1,240	1,559
新一年生パスポート		290	444	440	662	697		
視察等・その他		1,103	1,297	1,715	2,036	2,707		
計		6,234	7,800	10,640	9,077	10,327		
無料	幼児		10,435	12,755	18,030	22,886	22,256	
	その他		0	0	0	0	0	
	計		10,435	12,755	18,030	22,886	22,256	
計		31,873	41,281	56,002	77,793	78,189		
館主催行事	特別企画展		0	6,050	4,512	11,460	10,706	
	おはなし会		0	24	105	118	90	
	えいが会		0	0	0	0	0	
	ワークショップ		70	77	74	116	50	
	出前等		0	10	0	0	0	
	その他の催し等		523	926	1,026	2,979	2,791	
	計		593	7,087	5,717	14,673	13,637	
親子読書コーナー		4,255	5,281	6,360	8,002	8,631		
合計		36,721	53,649	68,079	100,468	100,457		
開館日数(日)		292	234	307	307	308		
1日平均利用者(人)		126	229	222	327	326		

(2) 公益財団法人かごしま教育文化振興財団の概要 (令和6年4月1日現在)

① 目的

この法人は、鹿児島市の設置する教育文化施設の管理運営等を行うとともに、教育、学術、芸術文化及び生涯学習に関する各種の事業を行い、もって個性豊かな市民文化を創造することを目的とする。

② 事業

- ・教育文化施設の管理及び運営に関する事業
- ・学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業
- ・学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業
- ・利用者サービス事業
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

③ 事務局

鹿児島県鹿児島市城山町5番1号 かごしま近代文学館内

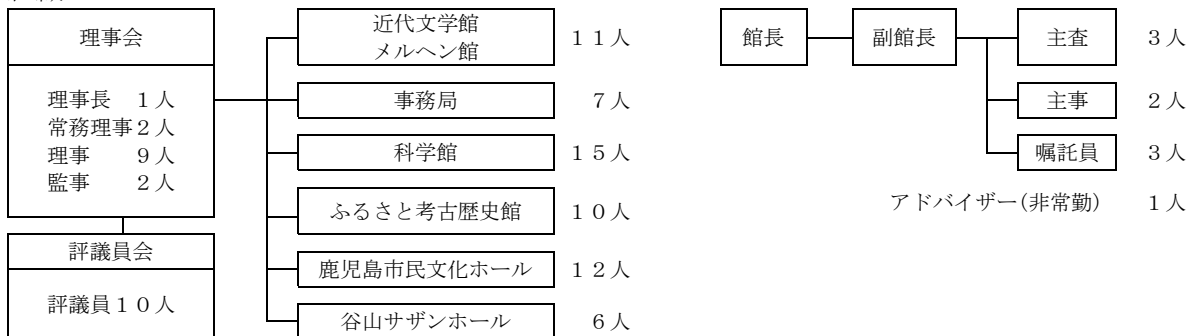
④ 基本財産

1億1千万円

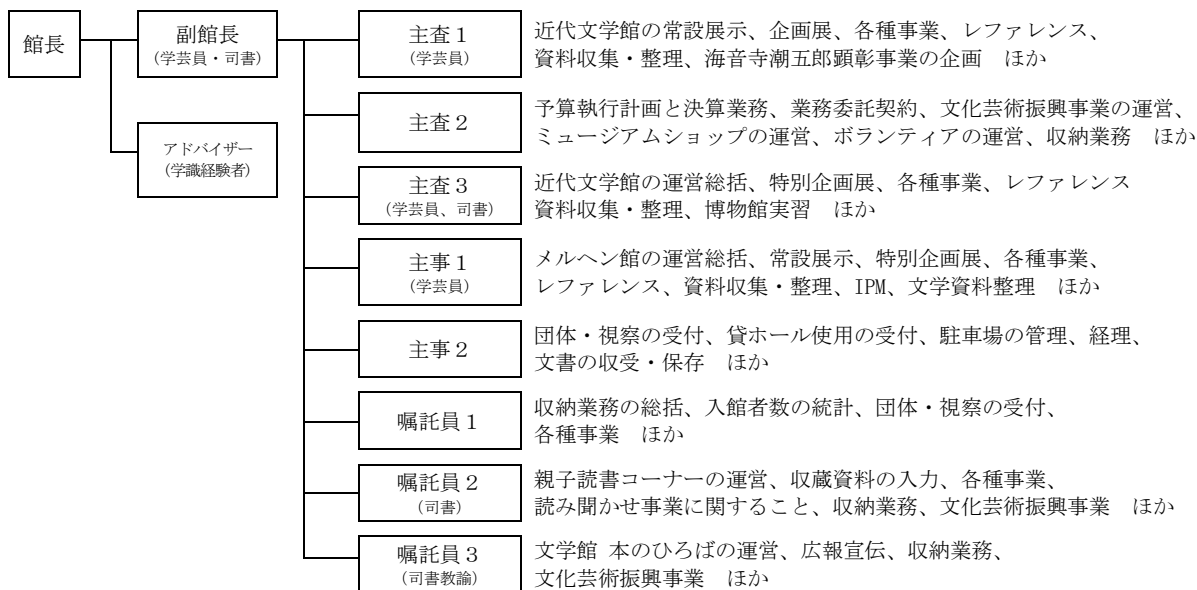
⑤ 設立年月日

平成9年12月1日

⑥ 組織



(3) かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館 事務の業務体制 (令和6年4月1日現在)



8 かごしま近代文学館条例

平成9年10月3日
条例 第35号

(設置)

第1条 本市における文学の振興及び文化の向上を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、近代文学館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 近代文学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしま近代文学館	鹿児島市城山町5番1号

(事業)

第3条 かごしま近代文学館(以下「近代文学館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 鹿児島にゆかりのある近代文学等(以下「近代文学等」という。)に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 近代文学等に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 近代文学等に関する講座、講演会等を開催すること。
- (4) 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のために近代文学館の施設及び設備(以下「施設等」という。)を提供すること。
- (5) その他近代文学館の設置の目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第3条の2 近代文学館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定の申請)

第3条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定)

第3条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するものの中から指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) 近代文学館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) 近代文学館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 近代文学館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者が行う業務)

第3条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条各号に掲げる事業に関する業務
- (2) 第5条及び第6条の規定による近代文学館の使用の許可等に関する業務
- (3) 第7条の規定による近代文学館の使用許可の取消し等に関する業務
- (4) 第11条の規定による近代文学館の使用目的の変更の許可に関する業務
- (5) 第12条の規定による近代文学館における特別の設備の付加の許可等に関する業務
- (6) 第14条の規定による近代文学館の入館の制限に関する業務
- (7) 施設等の維持管理に関する業務
- (8) 前各号に掲げるもののほか、近代文学館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(開館時間等)

第3条の6 近代文学館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、近代文学館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 近代文学館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(観覧料等)

第4条 近代文学館が主催して展示する近代文学等に関する資料(以下「文学資料等」という。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 次条に規定する許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表第2に定める使用料を規則で定める期日までに納付しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、文学資料等を観覧しようとする者又は使用者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

4 観覧料(前項の場合にあっては、利用料金)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあっては、指定管理者。第9条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例71・全改、平26条例24・一部改正)

(使用の許可)

第5条 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のため、施設等を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、施設等の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付けることができる。

(平26条例24・一部改正)

(使用の不許可)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 文学資料等又は施設等を毀損し、又は汚損するおそれがあると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、施設等の管理上支障があると認めるとき。

(平26条例24・一部改正)

(使用許可の取消し等)

第7条 市長は、使用者の申出による場合のほか、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消すことができる。

- (1) 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 使用者が使用許可の条件に違反したとき。
- (3) 使用者が偽りその他不正な手段により使用許可を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、市長が管理上又は公益上必要と認めるとき。

2 前項の規定により、市長が施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消した場合において、使用者に損害が生じて、市は、その賠償の責めを負わないものとする。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

第8条 削除

(平17条例71)

(観覧料等の減免)

第9条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料(第4条第3項の場合にあつては、利用料金。次条において同じ。)を減額し、又は免除することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(使用する権利の譲渡等の禁止)

第11条 使用者は、施設等を使用する権利を譲渡し、若しくは転貸し、又は市長の許可を受けずに目的を変更することはできない。

(平26条例24・一部改正)

(特別の設備等)

第12条 使用者は、近代文学館の使用に当たって、特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用しようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において特別な設備をさせることができる。

3 使用者は、前2項の規定により特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用したときは、使用許可期間満了までにこれを撤去し、原状に復さなければならない。

(平26条例24・一部改正)

(使用者の義務)

第13条 使用者は、使用期間中その使用に係る施設等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(入館の制限)

第14条 市長は、近代文学館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (2) 文学資料等又は施設等を毀損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。
- (3) 管理上の必要な指示に従わないとき。
- (4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平26条例24・一部改正)

(損害賠償義務)

第15条 故意又は過失により、文学資料等又は施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第16条 指定管理者又は近代文学館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、近代文学館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平17条例71・全改)

(委任)

第17条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

(平26条例24・一部改正)

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

- 2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和42年条例第37号)の一部を次のように改正する。
第1条中第29号を第30号とし、第16号から第28号までを1号ずつ繰り下げ、第15号の次に次の1号を加える。

(16) かがしま近代文学館

付 則 (平成17年3月30日条例第22号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

付 則 (平成17年7月11日条例第71号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第3条の次に5条を加える改正規定(第3条の3及び第3条の4に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。

付 則 (平成26年3月18日条例第24号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)

(平17条例22・平26条例24・一部改正)

区 分		観 覧 料		
		個 人	20人以上の団体	
常設展示	近代文学館	一 般	300円	1人につき240円
		中学生・小学生	150円	1人につき120円
	共通	一 般	500円	1人につき400円
		中学生・小学生	250円	1人につき200円
年間観覧券	近代文学館	一 般	1人1年間につき 600円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500円	
特 別 展 示		1人につき2,000円以内で市長が定める額		

備考

- 「常設展示」とは近代文学館が平常的に常設展示室で行う文学資料等の展示をいい、「特別展示」とは近代文学館が特別に文学ホールで行う文学資料等の展示をいう。
- 「共通」とは、近代文学館の常設展示とかがしまメルヘン館条例(平成9年条例第36号)に規定するかがしまメルヘン館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して1年間とする。

別表第2(第4条関係)

(平26条例24・一部改正)

1 文学ホール等使用料

区 分		午前9時30分から 午後1時まで	午後1時から 午後6時まで	午前9時30分から 午後6時まで
		文学ホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	2,500円
使用者が入場料金を徴収する場合	3,200円		4,600円	7,800円
メルヘンホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	1,000円	1,400円	2,400円
	使用者が入場料金を徴収する場合	1,200円	1,800円	3,000円

2 附属設備使用料

附属設備	1,000円以内で規則で定める額
------	------------------

9 かごしまメルヘン館条例

平成9年10月3日
条例 第36号

(設置)

第1条 人形の展示及び映像等を通じ、童話、民話等の物語の世界を演出することにより、青少年に夢を与えとともに市民の豊かな感性を育むため、かごしまメルヘン館(以下「メルヘン館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 メルヘン館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしまメルヘン館	鹿児島市城山町5番1号

(指定管理者による管理)

第2条の2 メルヘン館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定の申請)

第2条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定)

第2条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するものうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) メルヘン館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) メルヘン館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) メルヘン館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例72・追加)

(指定管理者が行う業務)

第2条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第6条の規定によるメルヘン館の入館の制限に関する業務
- (2) メルヘン館の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、メルヘン館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例72・追加)

(開館時間等)

第2条の6 メルヘン館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、メルヘン館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 メルヘン館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。))に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例72・追加)

(観覧料等)

第3条 メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

3 観覧料(前項の場合にあっては、利用料金。次条及び第5条において同じ。)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあっては、指定管理者。次条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例72・全改)

(観覧料等の減免)

第4条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(平17条例72・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第5条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例72・一部改正)

(入館の制限)

第6条 市長は、メルヘン館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (2) メルヘン館の施設、附属設備又は展示物(以下「施設等」という。)をき損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。
- (3) 管理上の必要な指示に従わないとき。
- (4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平 17 条例 72・一部改正)

(損害賠償義務)

第 7 条 故意又は過失により、施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第 8 条 指定管理者又はメルヘン館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、メルヘン館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平 17 条例 72・全改)

(委任)

第 9 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和 42 年条例第 37 号)の一部を次のように改正する。

第 1 条中第 30 号を第 31 号とし、第 17 号から第 29 号までを 1 号ずつ繰り下げ、第 16 号の次に次の 1 号を加える。

(17) かがしまメルヘン館

付 則 (平成 17 年 3 月 30 日条例第 22 号)

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 17 年 7 月 11 日条例第 72 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条の次に 5 条を加える改正規定(第 2 条の 3 及び第 2 条の 4 に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。

別表(第 3 条関係)

(平 17 条例 22・一部改正)

区 分		観 覧 料		
		個 人	20 人以上の団体	
常設展示	メルヘン館	一 般	300 円	1人につき 240 円
		中学生・小学生	150 円	1人につき 120 円
	共通	一 般	500 円	1人につき 400 円
		中学生・小学生	250 円	1人につき 200 円
年間観覧券	メルヘン館	一 般	1人1年間につき 600 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300 円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500 円	
特 別 展 示		1人につき 2,000 円以内で市長が定める額		

備考

- 「常設展示」とはメルヘン館が平常的に常設展示室で行う展示をいい、「特別展示」とはメルヘン館が特別に文学ホールで行う展示をいう。
- 「共通」とは、メルヘン館の常設展示とかがしま近代文学館条例(平成 9 年条例第 35 号)に規定するかがしま近代文学館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で 15 歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して 1 年間とする。

かごしま
近代文学館・メルヘン館年報
令和6年度(2024)

発行日 令和8年3月
発行 かごしま近代文学館
かごしまメルヘン館

〒892-0853

鹿児島市城山町5番1号

電話 099-226-7771

FAX 099-227-2653

<https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>